

議会運営委員会

●平成23年陳情第1号

白馬村議会基本条例を遅くとも平成24年度内に制定することについての陳情

陳情第1号は平成23年3月議会本会議で継続審査と決定されていたもの。

意見

※他の市町村でも、基本条例の検討をしている。

※陳情の具体的な事項については再検討が必要であるが、基本条例を制定するという趣旨は理解できる。

▽委員全員の賛成により趣旨採択にすべきものと決定。

本会議での討論

●発委第3号

賛成討論 【田中榮一】

附帯決議は法的には効力はないとあるが、政治的にはそ

れなりの効力があり、重要な意味を持っている。附帯決議は可決されると、村長に送付され、決議に書かれている事項が履行されているかどうか、重要な政治的判断につながる。

がる。そういう意味で議案に関係しており、わかりやすいのも特徴である。

反対討論 【小林英雄】

附帯決議には法的拘束力はなく、決算という過去のこと



議会審議の様子

に附帯決議を付けても、全く意味はない。附帯決議は行政に対する議会要望なので、多数で附帯決議をすることにも問題がある。附帯決議では支出の根拠が不明確であったと断定しており、支出の根拠が不明確な決算は認定すべきではない。

●発委第4号

賛成討論 【田中榮一】

附帯決議の効力については、認定第1号のところで申し上げたが、今回は特に重要である。議会活動のうち、最も価値ある行動であると認識している。

反対討論 【小林英雄】

附帯決議には法的拘束力はなく、過去の決算に附帯決議を付ける意味はない。

行政に対する議会要望なので、議員全員の賛同が一般的で、多数で附帯決議をすることにも問題がある。内容は、行政が当然行うべきことであり、附帯決議とするものではない。

●認定4号

賛成討論 【太田 修】

決算書の調定額は、数年前からの収入未済額の誤りであり、実質の歳入歳出額は正確に処理をされており、認定すべきと思う。

行政は、この誤りを議会の下水道特別委員会と連携して精査し、適正に訂正すべきと考えている。そのためにも附帯決議は必要であり、また政治的な重みがあると思う。

反対討論 【小林英雄】

負担金調定額と収入未済額の1000万円の違いが明らかになり、その原因は分からず、再発防止策も未だ示されていない。B&Gプールの負担金に関しては、職員に時効の認識がなかったと考えざるを得ない。正しくない疑惑の残る決算を認定しないことは議会の行政に対する意思表示であり、議会の権限でもある。